

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	2024年 8月 9日
住 所 (法人にあっては, 主たる事務所 の所在地) 京都市山科区大宅山田町34	氏名 (法人にあっては, 名称及び代表名) 学校法人京都橘学園 理事長 片山傳生

京都市地球温暖化対策条例 ☒ 第 4 9 条第 1 項 ☐ 第 4 9 条第 3 項 ☐ 第 5 2 条第 1 項 ☐ 第 5 2 条第 2 項において準用する同条例第 4 9 条第 3 項 の規定により提出します。				
工 事 の 種 別		☒ 新築 ☐ 増築		
工事着工予定年月日		令和6年 9月 1日		
工事完了予定年月日		令和8年 2月 28日		
建築物 の概要	名 称	京都橘大学 新教室棟 (仮称)		
	所 在 地	京都市山科区大宅山田町3他86筆		
	構 造	S	階 数	地 上 8 階 地 下 階
	敷 地 面 積	69726.27 平方メートル	高 さ	30.87メートル
	建 築 面 積	2269.78 平方メートル	床 面 積 の 合 計 (1 棟増築の場合の 増築部分の床面積)	13019.62平方メートル (平方メートル)
	用途別の床 面積	住 宅	平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む 店舗等		
		事 務 所 等		
		学 校 等	13019.62㎡	
		飲 食 店 等		
		集 会 所 等		
工 場 等				
建築環境総合性能評価システムによる評 価の結果		BEE=3.0 ランク S		
金融機関の融資制度を利用するための 受領確認書の交付について (販売を目的とした住宅を計画する場合のみ 記入すること)		☐ 希望する ☐ 希望しない		
設計者の住所及び氏名の公表について		☒ 公表可 ☐ 公表不可		

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概 要
☒ 外 壁 ， 屋 根 又 は 床 の 断 熱	屋上、外壁断熱の実施
☒ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	窓廻りの断熱、日射遮蔽の高いガラスの選定
☒ エネルギー消費効率の高い設備の導入	高効率機器の採用
☒ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	太陽光発電設備の設置 地域産木材の採用 ペレットストーブの採用
☒ 環 境 へ の 負 荷 が 少 な い 材 料 の 利 用	リサイクル材の利用
☒ 地 域 産 木 材 の 利 用	外部の軒天へ地域産木材の利用 内部壁面、サインへ京都市産材木材の利用
☒ 節 水 型 設 備 の 設 置	水栓は自動水栓や節水コマ付きを採用。 大便器は節水型器具（洗浄水量6L）を採用。
☐ 雨 水 ， 雑 排 水 等 の 利 用	
☒ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	外壁、内壁ともに、耐用年数の長い材料を採用
☒ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	設備機器の点検・更新スペースの確保
☒ 緑 化 の 実 施	敷地周囲に中低木、地被を計画 各階テラスに植栽を配置
☐ 電気自動車等の充電設備の設置	
☐ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	
☐ 代替フロン由来の温室効果ガス排出削減	
☐ そ の 他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。（敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります）